

Ⅲ 研修及び相談・情報提供

感染症情報センターでは、研修及び相談・情報提供業務を情報センターの情報収集、発信機能の一つとして位置付けている。本項目の報告については、年度単位での実績を報告する。

1 研修への講師派遣、研修の受講、受け入れ

新型コロナウイルス感染症の流行以降、DX の進展により、研修の開催方法は多様化した。対面での集合研修、web 研修及び両者を併用したハイブリッド開催である。

令和 6 年度の当センターからの研修講師実績を表Ⅲ-1-1、当センター職員の研修受講状況を表Ⅲ-1-2、研修受け入れ実績を表Ⅲ-1-3 に示した。研修会受講者は、研修内容等を随時他の職員に伝達し、職員相互での情報・知識・技術の共有及び向上に努めた。

表Ⅲ-1-1 令和 6 年度埼玉県感染症情報センター研修講師実績

No.	研修の名称	主催者	対象者	実施日
1	令和6年度感染症新任者研修会	感染症対策課	保健所感染症担当者	R6.4.18
2	地衛研Webセミナー第4回Mini 「不明疾患におけるNGS使用と解析について」	地方衛生研究所全国協議会	地方衛生研究所の感染症情報センター担当者	R6.4.30
3	令和6年度埼玉県環境衛生監視員等研修会	生活衛生課	保健所環境衛生担当者	R6.7.5
4	衛生微生物技術協議会第 44 回研究会 「埼玉県における急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランスの取り組み」	衛生微生物技術協議会第44回研究会	衛生微生物協議会会員	R6.7.11
5	県立高等看護学院 講義 「情報科学Ⅰ」	県立高等看護学院	看護学科 1年生	R6.8.27
6	令和6年度第1回感染症担当者会議 「結核の分子疫学検査について」	感染症対策課	保健所感染症担当者	R6.10.18
7	令和6年度細菌研修	国立保健医療科学院	地方衛生研究所細菌検査担当者	R6.10.28～30
8	地衛研Webセミナー第5回Mini 「マルチプレックスタイリング PCR 増幅断片解析用パイオインフォマティクスパイプラインプログラム MTAAP の使用経験(その 1)」	地方衛生研究所全国協議会	地方衛生研究所の感染症情報センター担当者	R6.11.19
9	第25期救急救命士養成訓練 「感染症」	埼玉県消防学校	救急救命士養成課程受講者	R6.12.23
10	感染症サーベイランスオフィサープログラムキックオフミーティング	国立感染症研究所	自治体の感染症サーベイランス担当者	R7.1.27

表Ⅲ-1-2 令和6年度埼玉県感染症情報センター研修受講状況

No.	研修の名称	主催者	目的・内容等	期間	受講人数
1	令和6年度病原体等の包装・運搬講習会	厚生労働省	病原体等の運搬の基本となる梱包方法及び関係法規 ゆうパック利用に係る遵守事項と梱包の実技等	4時間	1
2	令和6年度希少感染症技術研修会	厚生労働省 国立感染症研究所	希少感染症に関する最新知識と技術の習得	2日	2
3	令和6年度 感染症集団発生対策研修	国立保健医療科学院	感染症対策、感染症の疫学の特徴について理解するとともに、感染症健康危機管理への対応を習得する	5日	1
4	令和6年度 新興再興感染症研修	国立保健医療科学院	ウイルス分野における知識の習得等	5日	1
5	地方衛生研究所サーベイランス業務従事者研修	国立感染症研究所	疫学、感染症の基礎、感染症危機管理事例関連の法規に関すること等	2日	5
6	新型コロナウイルス感受性調査の技術研修会	国立感染症研究所	ウイルス分野における知識の習得等	2日	1
7	薬剤耐性菌の検査に関する研修	国立感染症研究所	薬剤耐性菌の基礎的知識及び検査技術の習得	3日	1
8	感染症サーベイランスオフィサーキックオフミーティング	国立感染症研究所	感染症サーベイランスにおける人材育成	1日	3
9	MLVA研修	国立感染症研究所	MLVAに関する基礎的な知識および技術の習得	3日	1
10	動物由来感染症リファレンスセンター第2回研修会(SFTS検査研修)	国立感染症研究所	動物由来感染症に関する知識の習得等	2日	1
11	動物由来感染症対策研修会	国立感染症研究所	動物由来感染症に関する知識の習得等	4時間	3
12	地衛研Webセミナー第4回Mini	地方衛生研究所全国協議会	不明疾患におけるNGS解析法について	4時間	2
13	第1回地方衛生研究所を対象とした微生物分野の基礎的な研修	地方衛生研究所全国協議会	微生物分野における知識の習得等	4時間	5
14	令和6年度地方衛生研究所等職員セミナー(初任者向け)	地方衛生研究所全国協議会	微生物分野における知識の習得等	1日	1
15	令和6年度地方衛生研究所全国協議会精度管理部会研修会	地方衛生研究所全国協議会	麻しん風しんの精度管理に関する知識の習得	1日	10
16	衛生微生物協議会第44回研究会	衛生微生物協議会	衛生行政に関連する衛生微生物の情報交換、技術の向上及び会員相互の連絡及び協調	2日	9
17	第38回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会	公衆衛生情報研究協議会	公衆衛生情報に関する知識の習得等	2日	4
18	第39回地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部ウイルス研究部会	地研関東甲信静支部ウイルス研究部会	ウイルス分野における知識の習得等	2日	5
19	令和6年度地研協議会関東甲信静支部第14回公衆衛生情報研究部会	地研関東甲信静支部公衆衛生情報研究部会	公衆衛生情報に関する知識の習得等	4時間	2
20	第36回地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部細菌研究部会総会・研究会	地研関東甲信静支部細菌研究部会	細菌分野における知識の習得等	2日	7
21	令和6年度地方感染症情報センター担当者会議	地方衛生研究所全国協議会保健情報疫学部会	公衆衛生情報に関する知識の習得等	2.5時間	3
22	結核菌全ゲノム解析研修	東京都健康安全研究センター	結核全ゲノム解析の技術習得	1日	1
23	令和6年度結核予防技術者地区別講習会(関東甲信越ブロック)	神奈川県健康医療局保健医療部健康危機・感染症対策課	結核に関する知識等の習得及び情報収集	2日	2
24	結核菌全ゲノム解析研修	公益財団法人結核予防会結核研究所	結核全ゲノム解析の技術習得	1日	1
25	第45回日本食品微生物学会学術総会	日本食品微生物学会	食品微生物に関する知識の習得等	2日	1
26	日本防菌防黴学会 第51年次大会	日本防菌防黴学会	レジオネラを含む環境細菌の知見収集	2日	1
27	令和6年度感染症疫学研修会	NPO法人岡山健康医学研究会	感染症疫学調査の考え方と手法及び感染症サーベイランスの活用方法の習得	2日	1
28	日本臨床ウイルス学会 学術集会	日本臨床ウイルス学会	研究成果の発表と意見交換、情報収集	2日	1

No.	研修の名称	主催者	目的・内容等	期間	受講人数
29	第83回日本公衆衛生学会総会	日本公衆衛生学会	公衆衛生情報に関する知識の習得等	3日	5
30	令和6年度予防接種従事者研修会	公益財団法人予防接種リサーチセンター	予防接種の実施にあたっての医学的・制度的な基礎知識	4時間	1
31	第8回抗酸菌研究会	抗酸菌研究会	結核菌を含む抗酸菌の最新知見の収集	2日	1
32	第26回腸管出血性大腸菌感染症研究会/第17回日本カンピロバクター研究会	腸管出血性大腸菌感染症研究会/日本カンピロバクター研究会	細菌分野における知識の習得等	2日	3
33	バイオセーフティ技術講習会(基礎コース)	認定特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会	バイオセーフティに関する知識の習得	3日	1
34	リケッチア研究会研究発表会	リケッチア研究会(福井大学付属病院)	リケッチアに関する知識の習得	2日	2
35	第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会	一般社団法人日本臨床微生物学会	臨床微生物の最新の知見及び研究発表	3日	1
36	令和6年度埼玉県疫学調査研修	埼玉県感染症対策課	感染症業務に係る対応力強化	3時間	1
37	令和6年度五県市合同研修会(第1回衛研セミナー)	衛生研究所	新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた今後の感染症対策について	3時間	9
38	第1回病原体の取扱いに関する研修会	衛生研究所	バイオセーフティに関する知識の習得	1時間	2
39	第2回病原体の取扱いに関する研修会	衛生研究所	バイオセーフティ技術講習会基礎コースの伝達講習	1時間	18
40	第3回病原体の取扱いに関する研修会	衛生研究所	災害時病原体取扱い訓練	1時間	16

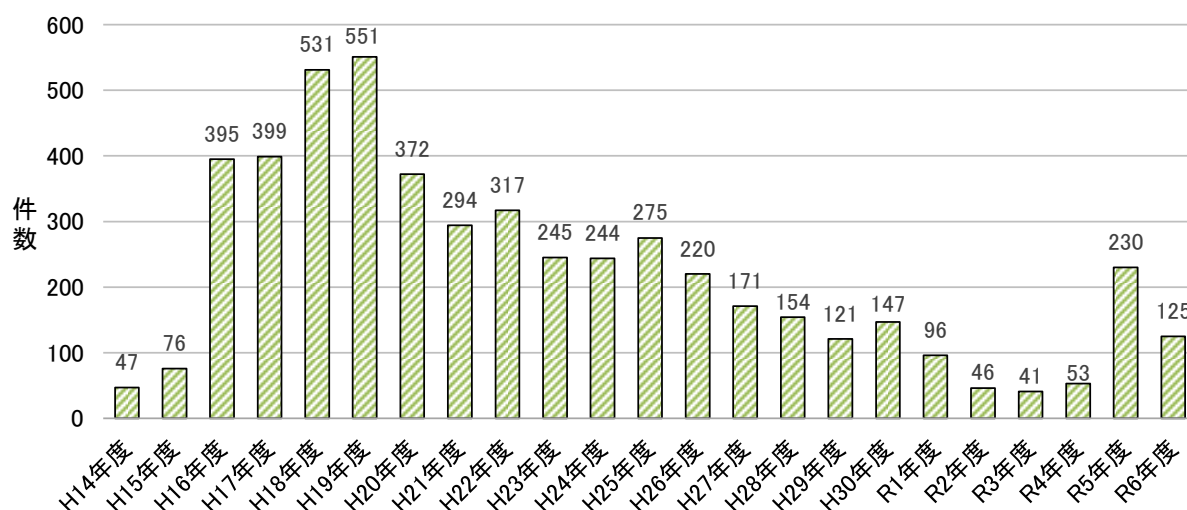
表Ⅲ-1-3 令和6年度感染症情報センター研修受入れ実績

No.	来所者	目的・内容	対応	実施日
1	越谷市保健医療部 保健所衛生検査課	研修	新型コロナウイルスゲノムの解析検査法習得	R6.5.9-10
2	深谷市教育委員会	研修・見学	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.8.22
3	薬学部学生	令和6年度埼玉県庁インターンシップ事業	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.8.28-30
4	埼玉医科大学医学部4年生	社会医学実習	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.9.6
5	獣医学部学生	VPcamp夏期実習	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.9.11
6	独協医科大学医学部生研修	研修・見学	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.9.27
7	保健所臨床研修医(坂戸)	臨床研修医研修	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.11.22 12.6
8	公益財団法人結核予防会 結核研究所 JICA外国人研修員	研修・見学	業務紹介、検査・研究設備の見学等	R6.10.18
9	県内中学生	研修・見学	業務紹介、講義、検査・研究設備の見学等	R7.3.14

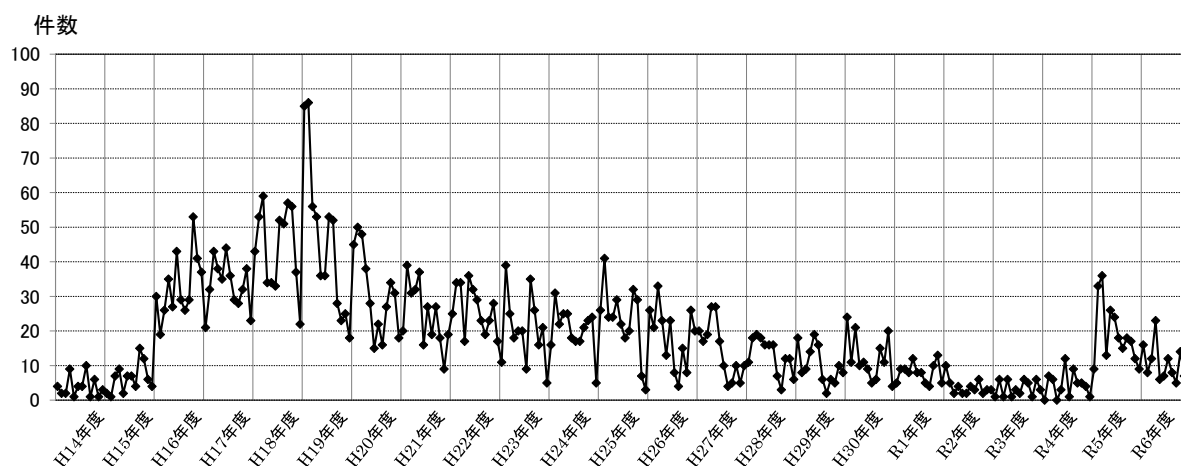
2 相談件数の推移、相談者の属性、内容、方法

感染症疫学情報担当では、平成 14 年 4 月に感染症疫学情報担当が発足して以来、情報の収集・解析及び還元情報の効果を評価するために、担当に寄せられた問い合わせ内容を、相談データとして Microsoft Access 上に構築したデータベースに蓄積し、相談の傾向を把握している。

年度ごとの相談件数は、感染症情報センターが県庁から移管された平成 16 年度に大きく増加し、最多となった平成 19 年度まで増加が続いたが、その後は令和 4 年度にかけて減少傾向にあった。その後、令和 5 年度に大きく増加したものの、令和 6 年度の相談件数は 125 件となり、前年度の 230 件と比較して減少した（図Ⅲ-2-1）。また、月別の相談件数を図Ⅲ-2-2 に示した。令和 6 年度は 7 月の相談が 23 件（18.4%）と最も多かった。



図Ⅲ-2-1 年度別相談件数



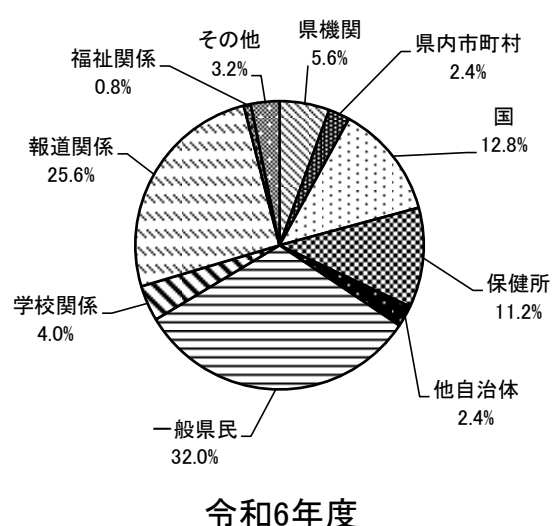
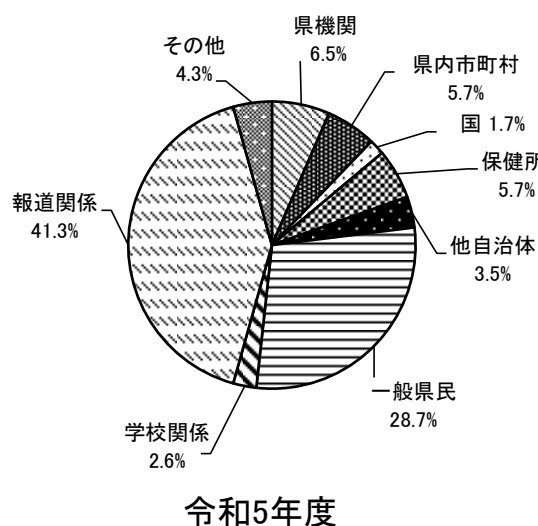
図Ⅲ-2-2 月別相談件数の推移

相談者の属性を件数及び割合で見ると、最も多いのは一般県民の 40 件（32.0%）で

あり、前年度の66件(28.7%)と比較して件数は減少したものの、割合はわずかに増加した。また、報道関係については32件(25.6%)と2番目に多かったが、前年度の95件(41.3%)と比較すると大幅に減少した。なお、相談者属性の主な内訳は、県機関(7件・5.6%)では、県庁感染症対策課、保健医療政策課等、その他(4件・3.2%)は、医療機関、民間企業等であった(表Ⅲ-2-1、図Ⅲ-2-3)。

表Ⅲ-2-1 相談者別・相談内容別 相談受理事件数

	疾患について	新型コロナウイルス ウイルス 感染症関係	インフル エンザ	麻しん	システム 関連	その他	総計	割合
県機関	4	3	0	0	0	0	7	5.6%
県内市町村	1	2	0	0	0	0	3	2.4%
国	9	0	0	7	0	0	16	12.8%
保健所	8	3	0	1	2	0	14	11.2%
他自治体	1	1	0	0	0	1	3	2.4%
一般県民	13	22	1	1	0	3	40	32.0%
学校関係	1	3	0	0	0	1	5	4.0%
報道関係	23	4	5	0	0	0	32	25.6%
福祉関係	1	0	0	0	0	0	1	0.8%
その他	2	0	0	0	0	2	4	3.2%
総計	63	38	6	9	2	7	125	100.0%
割合	50.4%	30.4%	4.8%	7.2%	1.6%	5.6%	100.0%	

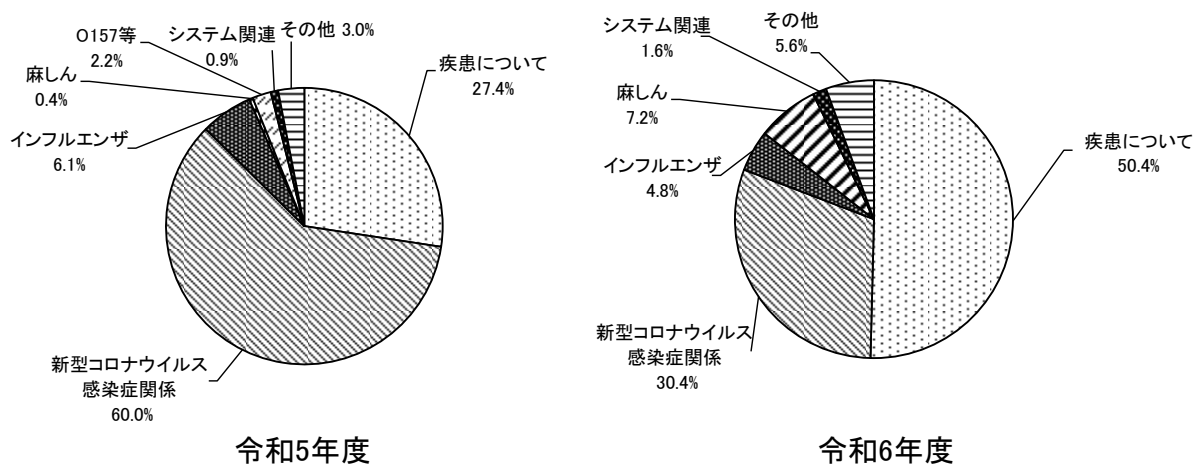


図Ⅲ-2-3 相談者内訳

相談内容を件数及び割合で見ると、最も多いのは「疾患について」が63件(50.4%)で、件数では前年度の63件(27.4%)と同数となった。相談者の内訳は、報道関係が

23 件、一般県民が 13 件の順に多かった。内容としては、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、インフルエンザ等の患者の発生動向に関する内容であった。(表Ⅲ-2-1、図Ⅲ-2-4)

「疾患について」に続いて相談の多かった「新型コロナウイルス感染症関係」は 38 件 (30.4%) であり、前年度の 138 件 (60.0%) と比較して件数・割合ともに大きく減少した。相談者としては、一般県民が 22 件と最も多かった。相談内容については、定点当たり報告数や流行状況等の患者の発生動向に関する内容が大半を占めていた(表Ⅲ-2-1、図Ⅲ-2-4)。



図Ⅲ-2-4 相談内容分類

相談方法別では、電話による相談が 94 件 (75.2%) と最も多く、次いで e-mail による相談が 21 件 (16.8%)、WEB を通じての相談が 10 件 (8.0%) であった(表Ⅲ-2-2)。

表Ⅲ-2-2 相談方法別 相談件数

電話	WEB	e-mail	総計
94	10	21	125
75.2%	8.0%	16.8%	100.0%

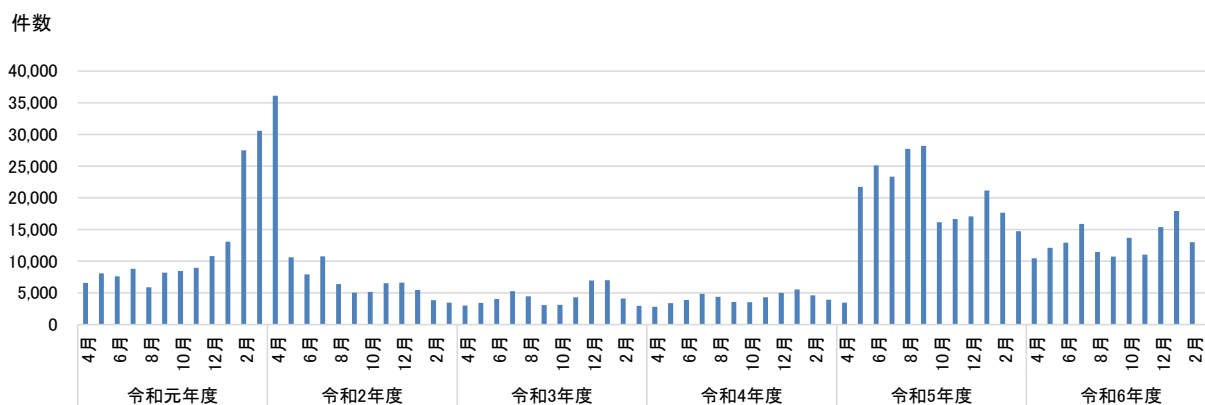
3 ホームページによる情報提供

感染症情報センターでは、主として医療機関や市町村等関連機関への迅速かつ正確な感染症に関する情報の提供という視点から、埼玉県感染症情報センターホームページを運営している。

令和 6 年度の月あたりのアクセス件数は前年度と比較して少なかったものの、10,000～17,000 件と年度を通じて高い水準で推移している。

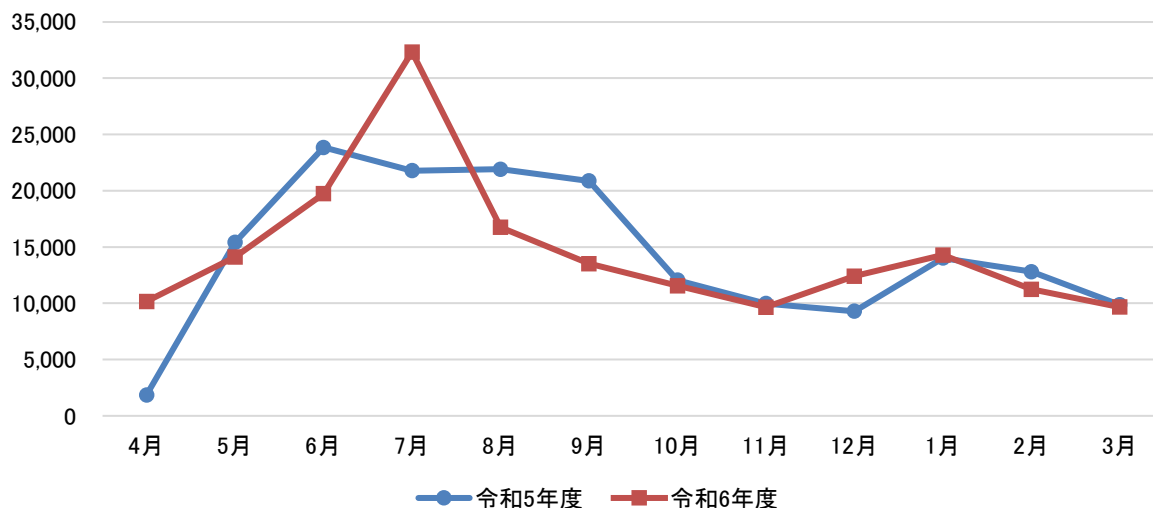
令和 6 年度は令和 6 年 7 月（15,896 件）及び令和 7 年 1 月（17,932 件）に大きなアクセス件数のピークが見られた。これは新型コロナウイルスの第 11 波及び第 12 波の流行と重なるため、依然として新型コロナウイルス感染症への関心が高いことが伺える。特に、令和 7 年 1 月はインフルエンザの流行もあり、令和 6 年度において最も高いアクセス件数となった。また、令和 6 年 10 月（13,681 件）にも小さなアクセス件数のピークが見られており、10 月に本県で麻しん患者が発生したことによるアクセス件数の増加と考えられる（図Ⅲ-3-1）。

総アクセス件数は令和 5 年度の 232,928 件と比較して、令和 6 年度は 157,830 件と減少したものの、過去 5 年でみると令和 5 年度に続き、2 番目に多いアクセス件数となった。



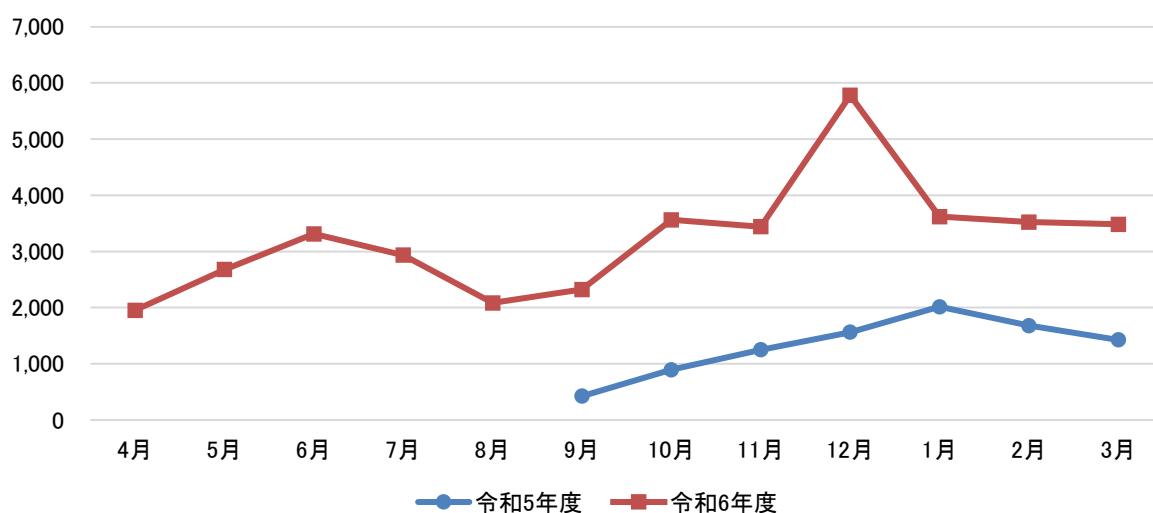
図Ⅲ-3-1 感染症情報センタートップページアクセス件数

令和 5 年度及び令和 6 年度の「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行情報」の月別アクセス件数を図Ⅲ-3-2 に示した。令和 5 年度の平均月別アクセス件数が 14,476 件であるのに対して、令和 6 年度の平均月別アクセス件数は約 14,619 件であり、同水準となった。第 11 波の流行のピークとなった 7 月のアクセス件数は 32,323 件となり、令和 5 年 6 月の 23,849 件を上回った。前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症への関心が高いことが考えられた。



図Ⅲ-3-2 ホームページ「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行情報」へのアクセス件数

また、令和5年5月から県独自事業として開始した急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランスの解析結果の情報提供を行うため、「かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況（急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランス）」のページを令和5年9月20日に開設した。令和5年度及び令和6年度の月別アクセス件数を図Ⅲ-3-3に示した。令和5年度の平均月別アクセス件数が1,322件であったことに対し、令和6年の平均月別アクセス件数は3,225件と増加した。同サーベイランスについての認知度が向上しているものと考えられた。



図Ⅲ-3-3 ホームページ「かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況（急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランス）」へのアクセス件数